

# 利用規約を確認する観点と運用上の 留意点

---

西村あさひ法律事務所・外国法共同事業

弁護士・ニューヨーク州弁護士 福岡 真之介

# 講師紹介



## 福岡 真之介

Shinnosuke Fukuoka

パートナー | 東京

X (twitter) : @shin\_fukuoka

### 業務分野

- ▶ AI / テクノロジー / テレコミュニケーション
- ▶ 個人情報 / プライバシー / ビッグデータ
- ▶ M&A / 企業組織再編
- ▶ 会社更生 / 民事再生
- ▶ グローバル・リストラクチャリング (国際倒産等)

- ▶ 2018年 経済産業省「AI・データ契約ガイドライン検討会」委員
- ▶ 2018年 内閣府「人間中心のAI社会原則会議」構成員
- ▶ 2020年 経済産業省「AI人材育成のための企業間データ提供促進検討会」委員
- ▶ 2021年 経済産業省「AI原則の実践の在り方に関する検討会」委員
- ▶ 2022年 デジタル庁「技術検討会議 ガバメントソリューションサービスタスクフォース」委員
- ▶ 2023年 「『令和5年度デジタル取引環境整備事業』（AIガバナンスのルールに関する調査研究及び検討会運営）有識者検討委員会」委員
- ▶ 2024年 総務省・経済産業省「AI事業者ガイドライン検討会」委員
- ▶ 2024年 内閣府「AI制度研究会」委員

テクノロジー法分野においては、AI・Web3を中心に取り扱いっており、内閣府「AI制度研究会」、内閣府・経済産業省「AI事業者ガイドライン検討会」委員を務める。「生成AIの法的リスクと対策」、「AI・データ倫理の教科書」、「AIプロファイリングの法律問題」などの著書がある。

### 書籍 / 論文

- ▶ 2018年 AIの法律と論点
- ▶ 2019年 IoT・AIの法律と戦略[第2版]
- ▶ 2020年 AIの法律
- ▶ 2020年 AI開発のための法律知識と契約書作成のポイント
- ▶ 2022年 AI・データ倫理の教科書
- ▶ 2023年 生成AIの法的リスクと対策
- ▶ 2023年 AIプロファイリングの法律問題

### 学歴 / 経歴

- ▶ 1996年 東京大学法学部第一類 (LL.B.)
- ▶ 2006年 Duke University School of Law (LL.M.)

# 自己紹介



出版社：弘文堂 (2022/6/14)

発売日：2022/6/14

言語：日本語

単行本：362ページ

2860円

第1章 倫理の判断枠組み

第2章 各国のAI倫理原則

第3章 AI・データ倫理が問題となった事例

第4章 AI倫理に対する企業の取組み

I AI倫理に関するソニーの取組み

II マイクロソフトの責任あるAIの取組み

III メルカリの取組み

IV 富士通におけるAIガバナンス



専門弁護士の知見を得られる、  
貴重な1冊

弁護士 福岡真之介

弁護士 松下外



福岡真之介 弁護士



松下外 弁護士

生成AIに潜む法的リスクの全貌と  
対策を学べる実用書

AI開発者・AI学習者・AI提供者・AI利用者・データ提供者  
全ステークホルダーの責任がわかる本



## 生成AIと著作権の論点

福岡 真之介 編著

A5判並製 / 256頁

ISBN:978-4-7857-3176-2

定価：3,520円 (本体3,200円 + 税)

発売日:2025年08月

在庫:在庫あり

数量：

1

購入する

立ち読み

# 1

## 利用規約の留意点

# 利用規約の構造

---

- ▶ 企業が提供する複数のサービスに適用される可能性
- ▶ グローバル企業による提供（国別の特別条項が設けられることも）
- ▶ 利用規約は複数の文書から構成
  - 利用規約（Terms of Use）：利用条件の基本を定めたもの
  - プライバシーポリシー：個人情報の取り扱いを定めたもの
  - サービス利用規約：特定のサービスに適用される利用条件

# 利用規約の構造

## ▶ ChatGPT

文書名	内容
利用規約 (Terms of Use)	個人向けサービス (ChatGPT、DALL・E 等を含む) 全般の基本的なルール・契約条件
プライバシーポリシー	個人情報の収集・利用・管理方法について定めるもの
サービス利用規約 (Service Terms)	特定サービス・機能に適用される追加・補足ルール
データ処理に関する補足事項	個人データを取り扱う際の付帯条件・保証事項に関するもの
使用ポリシー (Usage Policies)	利用者が守るべき禁止行為、利用可能な範囲など、安全性・責任の前提ルール
OpenAI のサービス契約 (Business / Developer 向け)	開発者用 API やエンタープライズ向けサービス利用時の別規約

# 利用規約の構造

## ▶ Gemini

文書名	内容
Google 利用規約	Google のサービス全般に対する基本的な契約条項。
生成 AI 追加条項	Google 利用規約に対して、生成 AI（たとえば Gemini）に関する特定ルールを追加的に定めるもの。
API 固有追加条項	Gemini の API を使う際に適用される追加的な契約条件（年齢制限、禁止行為、地域制限など
使用ポリシー・禁止ポリシー	利用者が守るべき禁止行為、安全性ルール、システム保護のためのルールなどを定めるポリシー群
プライバシー・データポリシー	ユーザー入力データ・生成出力・ログ情報の収集・利用・保存・開示に関する説明とユーザー権利など
Gemini アプリ ポリシー ガイドライン	モバイルアプリやチャット機能、画像生成出力など、特定機能に特化したルールや制限を示すもの

# 利用規約の構造

## ▶ Copilot（Microsoft経由。個人向け）

文書名	内容
Microsoft サービス規約 <a href="#">Microsoft Services Agreement (MSA)</a>	Microsoft が提供する一般サービス全体（Copilot含む）の基本規約。
Copilot利用規約 <a href="#">Copilot Terms and Use Policy</a>	Copilot の特性に関する特別条項。生成AIの限界、出力の責任、禁止事項など
プライバシー規約 <a href="#">Microsoft Privacy Statement</a>	入力データや利用履歴などの扱い。どのような目的でデータが収集・保存・削除されるか等
<a href="#">Microsoft Code of Conduct</a>	不適切・有害利用の禁止（暴力・差別・違法行為など）

# 利用規約のチェックポイント

---

- ▶ 禁止事項・・・個人情報保護法違反となるデータの入力やAI生成物の不適切利用などが禁止されていないか？
- ▶ 知的財産の帰属と利用条件・・・AI生成物の知的財産権は誰に帰属しているか？
- ▶ 入力データの学習・・・入力データが生成AIの学習に利用されるか？
- ▶ ベンダーの秘密保持義務・・・AI提供事業者が秘密保持義務を負っているか？
- ▶ 個人情報の取り扱い・・・AI提供事業者の個人情報の取り扱い（プライバシーポリシー）はどうなっているか？
- ▶ 利用年齢の制限（生徒が利用する場合）・・・利用年齢の制限（児童生徒が利用する場合）はあるか？
- ▶ 生成AI利用の表示義務・・・AI生成物を利用する場合、生成AI利用の表示義務があるか？
- ▶ 免責条項・・・損害が発生した場合、免責条項は存在するか？
- ▶ 管轄・準拠法・・・紛争が生じた場合の管轄・準拠法はどうなっているか？

## 2 | 生成AIを使ったチェックの例

# 利用規約のチェックするプロンプト例

【生成AI】の利用規約について、以下の8項目を中心に要点を整理してください。各項目ごとに「該当条項の抜粋（英文の場合には日本語に翻訳）」→「要約」→「利用上の留意点（ユーザー視点）」の3段階で示してください。

#確認項目： ① 禁止事項 ② 知的財産の帰属と利用条件（出力の権利・再利用・商用利用可否など） ③ 入力データが学習に利用されるか（学習除外の設定や例外条件の有無） ④ ベンダーの秘密保持義務（入力情報の守秘範囲・従業員アクセス・第三者提供） ⑤ 個人情報の取り扱い（プライバシーポリシーとの関係、越境移転） ⑥ 生成AI利用の表示義務（出力利用時の明示・クレジット表記など） ⑦ 免責条項（責任制限・保証否認・利用者責任の範囲） ⑧ 管轄・準拠法（紛争時の裁判地・適用法・仲裁条項の有無）

# 利用規約のチェックするプロンプト例

---

#出力形式： 項目 条文抜粋／要点 解説・留意点（法務／実務視点） 禁止事項 …… 知的財産の帰属と利用条件 …… 入力データの学習 …… ベンダーの秘密保持義務 …… 個人情報の取り扱い …… 生成AI利用の表示義務 …… 免責条項 …… 管轄・準拠法 ……

#補足条件： 最新の公開版利用規約および関連ポリシー（Usage Policy・Privacy Policy等）を参照。

引用元のURLを明示。

学校教育の現場で使えるように、学校利用の観点で簡潔かつ正確にまとめてください。

不明点や曖昧な規定がある場合は「曖昧／明記なし」としてリスク評価を付記。

# 実際の事例（Geminiの利用規約）

了解です。\*Google Gemini（アプリ/Web版など“Gemini Apps”）\*を前提に、最新の公開文書（Google ToS, Generative AI Prohibited Use Policy, Gemini Apps Privacy Notice ほか）を参照し、学校利用の観点で要点をまとめました。※条文は必要最小限の抜粋・要旨です。各セル末尾に出典を示します。

項目	条文抜粋/要点	解説・留意点（法務/実務視点）
禁止事項	「生成AIのやり取りには以下の制限が適用される」例：違法行為の助長、暴力・ヘイト、嫌がらせ、性的露骨表現、危険行為の指南、個人情報侵害、フィルタ回避等を禁止。最終改定 2024/12/17。 <a href="#">policies.google.c...</a>	学校では生徒のプロンプトが禁止領域に触れやすい（いじめ・ハラスメント、年齢不相応の内容等）。校内ガイドライン/プロンプト監査/フィルタ設定を用意。未成年向けには追加ガードレールがあるが（ティーン向け保護）、完全ではないため教員同席や使用時間帯の管理が望ましい。 <a href="#">safety.google +1</a>
知的財産の帰属と利用条件	Google ToS：「一部サービスはオリジナルコンテンツを生成でき、Google はそのコンテンツの所有権を主張しない。」「あなたのコンテンツはあなたのもの。」（Your content remains yours） <a href="#">policies.google.c...</a>	生成物は原則ユーザーに帰属し利用可能。ただし第三者権利の非侵害は保証されない。作品公開・コンクール提出時は既存著作物との類似・引用関係に注意。学校の授業・発表での再利用は可だが、出典・引用表示や校内ルールで透明性を担保。 <a href="#">policies.google.c...</a>
入力データが学習に利用されるか	Gemini Apps プライバシー通知：収集データは「提供・改善・新機能開発」等に使用。一部のチャットは人手レビュー対象。Gemini Apps Activity でAI 改善への利用をコントロール可能。設定オフでも安全確保目的の処理や匿名化改善は継続。人手レビュー対象データは最大3年保持。 <a href="#">Google ヘルプ +1</a>	学校での一般利用（個人アカウント等）は学習用途への利用が生じ得る。組織アカウント（Workspace）での Gemini は別扱い（「ユーザーのチャットやアップロードは許可なく学習に使用しない」の明記）なので、学校契約プランの適用可否を確認。掲示・同意の整備が必要。 <a href="#">Google ヘルプ</a>
ベンダーの秘密保持義務	ToS/Privacy：ユーザーのコンテンツについて Google にサービス運営・改善のためのライセンス。レビューはGoogleや委託先の訓練済みレビューが担当、アカウントと切り離して保存。第三者サービスと連携した場合は相手のポリシーに従う。 <a href="#">policies.google.c... +1</a>	「秘密保持契約（NDA）相当」の明文は限定的。校務情報・成績・健康情報など機微情報の入力とは不可と校内規程で明示。外部連携（Connected apps/Canvas）ではデータが第三者ポリシーに服するため、利用を制限。必要に応じ別途DPA/委託契約で補完。曖昧/明記なし：レビューの職務権限の詳細、アクセス範囲の細部。 <a href="#">Google ヘルプ</a>
個人情報の取り扱い（越境移転）	Gemini Apps プライバシー通知：発話・アップロード・生成物・接続アプリ由来情報等を収集。他法域で処理/保存される。アクティビティの保持期間や**自動削除設定（既定18か月）**を提供。 <a href="#">Google ヘルプ +1</a>	越境移転（EU/日本の個人情報法/GDPR）に注意。未成年データは最小化・匿名化を原則にし、保護者同意・掲示を整える。*学校の情報資産（出欠・指導記録等）*は入力禁止。人手レビュー用データが3年残存する点を保護者向け説明資料に反映。 <a href="#">Google ヘルプ</a>

# 実際の事例（Geminiの利用規約）

## 個人情報の取り扱い（越境移転）

Gemini Apps プライバシー通知：発話・アップロード・生成物・接続アプリ由来情報を収集。他法域で処理／保存され得る。アクティビティの保持期間や\*\*自動削除設定（既定18か月）\*\*を提供。 [Google ヘルプ +1](#)

越境移転（EU/日本の個人情報法/GDPR）に注意。未成年データは最小化・匿名化を原則にし、保護者同意・掲示を整える。\*\*学校の情報資産（出欠・指導記録等）\*\*は入力禁止。人手レビュー用データが3年残存する点を保護者向け説明資料に反映。 [Google ヘルプ](#)

## 生成AI利用の表示義務

規約上、生成物の使用を明示する「法的義務」の条文は見当たらない（一般向け Gemini/ToS には規定なし）。 [policies.google.c...](#)

曖昧／明記なし：法的な表示義務。—ただし教育倫理・アカデミックポリシー上は生成AI利用の明示（注記・脚注・プロンプト添付）を校内ルールで義務化するのが実務的。盗用・剽窃防止と学習評価の公平性確保に有効。

## 免責条項（責任制限・保証否認）

ToS：サービスは\*\*\*現状有姿\*\*で提供。Google は正確性・特定目的適合性を保証せず\*\*。間接損害等を含む広範な免責・責任上限（例：200米ドルまたは過去12か月の料金の大きい方）。 [policies.google.c...](#)

誤情報・有害出力の残リスク前提。学校では人のレビューを必須（医療・法務・安全分野の回答を鵜呑みにしない）。事故・トラブル時の補償は限定されるため、校内注意喚起・承諾手続きを実施。

## 管轄・準拠法

ToS：「準拠法はカリフォルニア州法。サンタクララ郡の連邦／州裁判所を専属管轄とする。」（2024/5/22版） [policies.google.c...](#)

海外準拠法・海外裁判地のため、実務上の争訟対応は困難。学校導入時は苦情処理・事故対応の校内フローを整備。公費調達や教育委員会の指針に従い、必要に応じ\*\*組織契約（Google Workspace + Gemini）\*\*で管轄やDPAを別途担保。

## 追加の実務メモ（学校向け）

- アカウント区分：個人Googleアカウントの Gemini と、Google Workspace（教育機関） + Geminiでは学習利用やログの扱いが異なる。学校提供アカウントでの利用を原則に。 [Google ヘルプ](#)
- 年齢要件：Gemini APIは18歳未満向け提供不可（APIクライアント含む）。授業でのアプリ開発・連携はこの制限に注意。 [Google AI for D... +1](#)
- 安全設計：GoogleはGeminiアプリのポリシーガイドラインを公開。授業設計で年齢不適切な出力を避ける工夫（キーワード制限、監督）を。 [Gemini +1](#)

# 注意点

---

- ▶ プロンプトは状況に応じて変更
- ▶ ハルシネーションには注意（100%信頼できるものではない）